BEST AVAILABLE COPY

Concise Explanation of JP-U-59-41867

AM

What is claimed is:

A closed battery with at least one of electrode terminals being attached to a plate for sealing an opening,

wherein a through-hole is provided in a central portion of each of a pair of a negative rivet and a positive rivet, and a resin piece having a thinned central portion is interposed between a tip of a leg portion of the positive rivet and a bottom portion of the negative rivet.

公開実用 昭和59— 41867

⑩ 日本国特許庁 (JP)

①実用新来出願公開

(全

頁)

□ 公開実用新案公報 (U)

昭59-41867

5) Int. Cl.3

識別記号

庁内整理番号

砂公開 昭和59年(1984) 3月17日

H 01 M 2·12 2/30

P 6821-5H 6821-5H

審査請求 未請求

HAIC SICERIAN

砂密閉電池

4寒

एक व्यक्तिमान हो। स्टब्स्ट्रा १५७५५ व्यक्तिका सम्बद्धाः सम्बद्धाः ।

願 昭57—133912

第 昭57(1982)9月2日

节考 案 者 山本宏

茨木市丑寅一丁目1番88号日立

マクセル株式会社内

沙考 案 者 松島精一

茨木市丑寅一丁目1番88号日立

マクセル株式会社内

当出 願 人 日立マクセル株式会社

茨木市丑寅1丁目1番88号

發代 理 人 弁理士 三輪鐵堆

明 細 害

- 1 考案の名称 密閉電池
- 2 奥用新 案登録 請求の範囲
 - 1. 少なくとも一方の電極端子部を封口板に取り付ける密閉電池において、電極端子構成要素として封口板に取り付ける一対の凹リペットの中央部に透孔を設け、凸リペットの脚部先端と凹リペットの脚部における凹りである。
- 8 考案の詳細な説明

本考案は防爆機能を備えた密閉電池に関する。
封口板に電極端子部を取り付ける密閉電池により付ける密閉電池により付ける密閉電池により付ける密閉で、からなりがある。
すりではいるととが本考をはいる。
本考案は防爆機能を備えた密閉電池に関わるというの間がある。
対して、対している。
をおり付ける容易にするととが本考案者らによって見出されている。

公開実用 昭和 59 — 41867

しかしながら、そのようなコンプレツションリペットを利用して電極端子部を構成する様式を渦巻形有機電解質電池などに適用した場合、密閉性が良好なことから、温度の異常上昇や過放電などによつて電池内の圧力が上昇して電池破裂を引きなこすことがある。

つぎに本考案の実施例を図面に基づいて説明する。

図面において、(1) は電極部で、この電極部(1) はたとえばステンレス鋼製のパンチングメタルにリ

情 祖

チ ゥ ム 板 を 圧 着 し て な る 負 極 板 と 、二 酸 化 マ ン ガ ンを活物質とする正極合剤をステンレス鋼製溶接 網に保持せしめて形成しポリプロピレン不識布よ りたるセパレータで包被した正極板とを重ね合わ せ芯棒を中心にして渦巻状に巻回した後、芯棒を 抜き取つたものであり、(2) は上 配置 極部(1) および 電解液(プロピレンカーポネートと 1.2 ージメト キシェタンとの容量比が 1:2 の混合密媒に過塩素 酸リチウムを 0.5 モル/1 溶解させたもの)を収容 する関胞ケースで、たとえばステンレス鋼でつく られている。この電池ケース(2)の底部には絶録り ングが配置され、負極板側のリード体がスポット 溶接されていて、この電池ケース(2)は負極端子と しての役目を兼ねている。(3) はステンレス鋼製の 封口板で、との封口板(3)の外間線部と電池ケース (2) の 開口 端部 とがプラズマアーク、レーザーなど の容接手段で溶接されている。(4)は正極側の端子 部で、この端子部(4)はアルミニウム製の凹リベツ ト(5)と鉄製の凸リペット(6)を有してなり、凹りペ ツト(5)は電池内部側から對口板(3)の端子用孔に挿

预建出

そして、凹リベット(5)の中央部および凸リベット(6)の中央部にはそれぞれ透孔(5a)、(6a)が設けられ、凸リベット(6)の脚部先端と凹リベット(5)の脚部における凹部底部との間には中央部を海内に形成した樹脂片(9)が介在している。

しかして、この電池は平常時は高い密閉性が確

保されているが、電池内の圧力が異常に高まつた際には、樹脂片(9)の薄肉部(92)が破れて内部のガスを外部に逃散させ、電池破裂を防ぐという防爆機能を有している。

樹脂片としては、たとえばポリプロピレン、ポリエチレン、エチレンープロピレン共重合体、ポリテトラフルオルエチレンなどのフツ素系樹脂製のものが使用され、薄肉部の厚さは電池の種類や樹脂片を構成する樹脂の種類などによつて異なり、それらに応じて適した厚さが適宜決定される。

回リベット(5)や凸リベット(6)の透孔(5a)、(6a)は特にその大きさは限定されないが、通常その直径を1~3 mm程度にするのが好ましく、また凹リベット(5)の脚部の外径はガスケット(7)の透孔の内径の1.1~1.8 倍程度、凸リベット(6) の脚部外径は凹リベット(5)の脚部内径の1.1~1.2 倍程度とするのが好ましい。

以上述べたように、本考案は電極端子構成要素として封口板に取り付ける一対の凹リベットと凸 リベットの中央部に透孔を設け、凸リベットの脚

公開実用 昭和 59— 41867

部先端と凹リベットの脚部における凹部の底部と の間に中央部を薄肉に形成した樹脂片を介在させ ることにより貿池に防爆機能を付与したものであ 3 ·

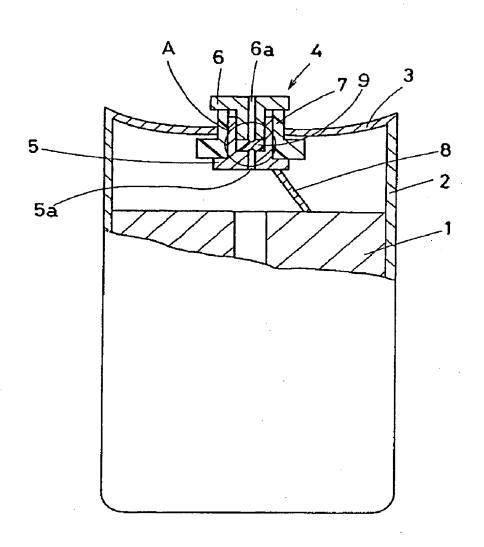
4 図面の簡単な説明

第1図は本考案の密閉電池の一実施例を示す部 分断面図であり、第2図は第1図に示す電池のA 部拡大断面図である。

- (3) … 封口板、 (4) … 正極側の端子部、
 - (5) … 凹リベット、 (5a) … 透孔、
 - (6) … 凸リベット、 (6a) … 透孔、
 - (9) ··· 樹脂片、 (9a) ··· 薄肉部

実用新案登録出願人 日立マクセル株式会社 代理人 弁理士

第 1 図



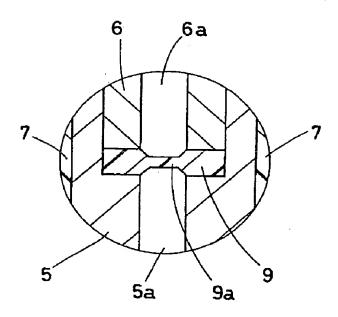
628

6...0

日立マクセル株式会社 実用新案登録出願人 代理人 弁理士 鐵雄 Ξ

14:359 - 4,1 00

第 2 図



621

実用新案登録出願人 日立マクセル株式会社 代理人 弁理士 三 輪 鐵 雄

1, 275

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

| Defects in the images include but are not limited to the items checked | 1. |
|--|----|
| ☐ BLACK BORDERS | |
| ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES | |
| ☐ FADED TEXT OR DRAWING | |
| ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING | |
| ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES | |
| ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS | |
| ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS | |
| ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT | |
| ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY | |
| | |

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.